

地区：仙台市 震災語り部

対象：

教育  
旅行団体  
旅行個人  
旅行

ジャンル： 震災語り部 まち歩き

# しちごう 七郷語り継ぎボランティア「未来へー郷浜」



## 学びのポイント

- ・東日本大震災を経験した『七郷語り継ぎボランティア「未来へー郷浜」』(※)のメンバーが語る生の声から、被災地を多くの人にとっての“暮らしがあつた場所”“思い出のつまつた場所”として捉えることで、ふるさとの記憶や災害の教訓を語り継ぐことの大切さを考えます。
  - ・過去に何度か津波の被害を受けてきた仙台市荒浜地区の歴史から、地域で発生した災害の被害状況と教訓を知り、防災対策につなげること、教訓を次の世代にも継いでいくことの重要性を学びます。
- ※七郷語り継ぎボランティア「未来へー郷浜」：震災前に荒浜地区に住んでいた住民などで構成する市民団体。地域の歴史や風土、震災の記憶と教訓など、多様なメンバーそれぞれの経験や思いを語り継ぐ活動をしています。

## 1. 内容

説明	<p>仙台市七郷(しちごう)は豊かな水田が広がる仙台の米どころであり、震災で甚大な被害にあった沿岸エリアや、2015年の地下鉄東西線の開業で新しい街がうまれ都市化が進む荒井エリアなど、様々な顔をもつ変化著しい地域です。</p> <p>七郷語り継ぎボランティア「未来へー郷浜」は、沿岸の荒浜地区に訪れる方々を中心に、変わりゆく地域のことや震災の記憶を次世代に語り継ぐ活動を行っています。</p> <p>“語り継ぎ”と冠した団体名には“語りが聴き手の心に届き、思いを継いでもらえたら”との意味が込められており、震災の教訓、震災前の暮らしの様子、地域の史跡・旧跡や見どころの紹介など、参加者の要望に応じて、対話式のプログラムを実施しています。</p>
実施形態	<p>ご要望に応じて次の形態で行います。いずれも冒頭で参加者全体に震災の被害状況について概要を説明してから実施します。</p> <p>①対談形式の講話：少人数のグループに語り手1名が入り、参加者でテーブルを囲みながら会話を進める</p> <p>②まち歩き：1グループ15名程度にわかれ、語り手1名の案内で地域を歩く</p>

## 2. まち歩きルート(例)：所要時間90分～120分



※ご要望によってコースを検討します。荒浜小学校への立ち寄りも可能です。

## 2. 情報①

所要時間	約90分～120分
催行人数	最大100名程度まで(要相談)
実施可能時間	10:00～16:00(最終開始時間) ※120分プログラムを行う場合は案内開始時間が14:00まで
定休日	希望日時にできるだけ応じられるように努めます
場所	①まち歩き 集合場所:震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎など 案内エリア:仙台市若林区荒浜地区など ②講話 事務局の七郷市民センターにご相談ください
予約受付	予約受付:七郷市民センター 案内実施:七郷語り継ぎボランティア「未来へー郷浜」

## 3. 料金

料金	要相談(交通費程度) ※講話をご希望の場合、参加者の方に会場手配と会場費の負担をお願いしております		
支払い方法	当日現金払い	キャンセルポリシー	予約の変更、キャンセルは前日まで キャンセル料は不要

## 4. アクセス

所在地	荒浜地区でのまち歩き ※コースによって異なります <集合・解散場所> ①震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎 〒984-0033 宮城県仙台市若林区荒浜中丁25他 Googleマップ: <a href="https://maps.app.goo.gl/FuHp8bD4EQNLLGwK6">https://maps.app.goo.gl/FuHp8bD4EQNLLGwK6</a> ②避難の丘(荒浜地区) 〒984-0034 宮城県仙台市若林区荒浜新1丁目11-22 Googleマップ: <a href="https://maps.app.goo.gl/bYoPkRQwi4kqu9mK7">https://maps.app.goo.gl/bYoPkRQwi4kqu9mK7</a>		
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎：普通車7台、障がい者等優先1台、大型バス1台</li> <li>震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎の向かい：普通車33台、障がい者等優先1台、大型バス4台</li> <li>避難の丘(新荒浜一丁目)：普通車124台、障がい者等優先8台、大型バス5台</li> </ul>		
アクセス	車	[震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎] 仙台東部道路 仙台東ICより約11分 仙台南部道路 今泉ICより約11分	
	その他	[震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎] タクシー利用の場合 地下鉄東西線荒井駅より約12分 路線バス利用の場合 地下鉄東西線荒井駅より仙台市営バスに乗車し「震災遺構仙台市立荒浜小学校前」(所要約14分)にて下車後、徒歩約7分 レンタサイクル利用の場合 地下鉄東西線荒井駅より「Uminote cycle」を利用して約26分 ※Uminote cycleの利用方法はこちら <a href="https://www.city.sendai.jp/project/sharecycle/0922.html">https://www.city.sendai.jp/project/sharecycle/0922.html</a>	
各地からの所要時間	[震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎] <ul style="list-style-type: none"> <li>仙台駅から車で約30分</li> <li>仙台空港から車で約23分</li> <li>松島から三陸自動車道～仙台東部道路を經由して車で約30分</li> </ul>		

## 5. 情報②

トイレ	・震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎の向かい(男性用・女性用・バリアフリー) ・避難の丘 ※新荒浜一丁目(男性用・女性用・バリアフリー)				
バリアフリー	まち歩きは90分ほど屋外を歩きます 階段の上り下りがあります	売店	なし	食事	なし
その他					

## 6. 注意事項

服装	歩きやすい服装・靴、雨具			
雨天時の対応	決行(雨具持参必須) ※内容が変更になる場合あり			

## 7. 災害時の対応

周辺の避難場所	津波避難施設:避難の丘(新荒浜一丁目)
---------	---------------------

## 8. 出張・オンライン対応

出張対応	応相談	オンライン対応	応相談
------	-----	---------	-----

## 9. その他

事前学習資料	
外国語対応	通訳者同行の場合は対応可
周辺施設	[震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎から] JRフルーツパーク仙台あらはま：車で約4分、徒歩12分 せんだい3.11メモリアル交流館：車で約12分 仙台市 南蒲生浄化センター：車で約12分

## 10. お問い合わせ・お申込み先

問合せ 申込み先	仙台市若林区七郷市民センター TEL:022-288-8700 (受付時間:9:00~21:00 休館日:月曜日、祝日の翌日、年末年始)
申込期限	実施希望日の1か月前まで(原則)

## ご案内コース例

### 【語り継ぎまち歩き 荒浜の暮らしと震災からの教訓を学ぶ（90分）】

待ちあわせ  
・  
慰霊、見学

#### 荒浜祈りの塔(荒浜慈聖観音)・慰霊碑

震災の犠牲者への慰霊と鎮魂のため、荒浜自治会と七郷連合町内会により建てられた荒浜祈りの塔。荒浜地区を襲った津波とほぼ同じ9メートルの高さです。慰霊碑には地区で亡くなった方190名の名前が刻まれています。



徒歩移動



見学

#### 深沼海岸

水平線の彼方まで広がる太平洋が壮観な海岸で、仙台市内唯一の海水浴場として多くの市民に親しまれてきた「深沼海水浴場」があります。震災後には高さ7.2メートルの海岸堤防が整備されました。また、400年前から行われてきた植林により、見事な景観を誇っていたクロマツの海岸林は津波でほとんど流出してしまいましたが、現在再生プロジェクトが官民連携で進められています。

徒歩移動



見学

#### 震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎・荒浜記憶の鐘

震災前は約800世帯2,200名が暮らした荒浜地区。かつての人々の暮らしや地域の記憶、そして、津波の恐ろしさと震災の教訓を伝えるため、住宅の基礎と津波による浸食地形を公開しています。モニュメント「荒浜記憶の鐘」は、荒浜地区を襲った津波の最高到達高、13.7メートルを表す造形となっています。

徒歩移動



見学

#### 貞山運河(貞山堀)

江戸時代から明治時代にかけて掘られた全長およそ31.5キロにおよぶ日本で最も長い運河です。舟運の時代は年貢米や木材などを積んだ舟が行き交っていました。送り盆のときに代々行われてきた灯籠流し、釣りや運河沿いのサイクリングなど、地域住民の暮らしに欠かせない場であり、憩いの場でもあります。

徒歩移動



見学

#### 避難の丘(新荒浜一丁目)

震災をうけて整備された津波発生時用の避難場所。5,000人以上が避難できる市内最大の避難丘です。

災害危険区域になり、居住できなくなった荒浜地区では、新たなにぎわいが生まれるよう、土地の利活用が行われ観光・交流施設の開業が相次いでいます。津波発生時、地区に訪れた方が迅速に避難できるよう整備されました。

※令和7年1月までの予定で、一部整備工事を行っていますが、工事中も避難は可能です。

<まち歩きはこちらで終了です>

案内終了

- ◆まち歩きのコースに震災遺構 仙台市立荒浜小学校を含めることもできます。小学校見学の所要時間は60分程度です。
- ◆ご要望に応じて、荒浜小学校とほかのスポットを選んで巡ることもできますのでご相談ください。

#### <震災遺構 仙台市立荒浜小学校>

海岸から約700メートルと、仙台市内で最も海岸に近い学校であり、地区で最も高い建物でした。震災当時は校舎の2階まで津波が押し寄せましたが、避難した児童や教職員住民320名全員の命を守りました。将来起こりうる災害による犠牲を減らすため、津波の威力や脅威、震災の教訓を後世に伝えています。

〒984-0033 宮城県仙台市若林区荒浜字新堀端32-1

開館時間:9:30~16:00(7・8月は9:30~17:00)

休館日:毎週月曜日および第4木曜日(月曜日が祝日の場合は開館)、年末年始(12月29日~1月4日)

